

した患者さんなどを治療してきました。そのような患者さんに対応できるのは、大学病院ならではといえます。一方で研究については、地方の大学病院では時代を切り開くまではいかず、都市部と差があるかもしれません。ただ医局制度が弱まった今でも、大学病院が地域医療を支えている面はあるのだと思います。

柴田：沖縄県で初期研修をした後で、同期が離島の一人医師として赴任し、島の全ての患者さん

を診ていく姿に衝撃を受けました。地方では、医師も地域の一部として一体となっている印象がありますね。一方で、医療

資源が少ない地域では、医師の責任の重さや診療の幅広さ、求められるものの多さなどを感じます。地方都市のメリットについてはどう思いますか。

佐藤：医師にとっては、1人の患者さんとじっくり関わられる点がメリットかもしれません。私は東京で数カ月ほど初期研修をしたのですが、都市部では本当によく転院しますよね。とくに救命救急センターなど、ある程度回復したらすぐにどこかへ転院して

小児科や産婦人科は救急医療とのさらなる連携が必要

いきます。人工呼吸器がついているような患者さんが転院するのを見て、とても驚きました。一方で私たちは、患者さんが集中治療室を出てから回復し、最終的にリハビリのみになるまで長い間関わり続けます。転院まで60日ほど入院していることもあり、患者さんをじっくり診ていくことができる環境でもありません。これは都市部の病院にはない特徴かもしれません。

柴田：佐藤先生は、ダイヤモンド・プリンセス号にも派遣されたのですよね。

佐藤：1日だけですが、DMATの派遣で行きました。高齢者が多く、併存症もあり、とても感情的になっている人がいるかと思えば、その場に慣れきったりエクササイズをしている人もいたり、何とか異世界のようにでした。自分が感染したらどうしようという心理的なストレスも強く、1日で3日分の診療くらい疲れました。ですが、ドアに「Thank you」と貼り紙がされていたり置き手紙があったりなど、極限状態でありながら人の感

情の深い部分に触れたような体験もできました。

柴田：救急の先生は災害時など、いつもフロントラインにいますよね。産婦人科医は妊婦さんを診るのでいつも守られ診察しているように感じます。最前線にいてくださる救急の先生にはいつも感謝しています。

佐藤：柴田先生の著書にもあつたと思うのですが、今妊婦さんの数自体が少ないので、災害に

しても出血にしても母子の危機的な状況に慣れている医師が少ないことが課題ですね。外科や内科の先生と比べて、産婦人科や小児科の先生とは本当に関わりが少ないので、もつと産婦人科の先生とセッションできることがあればいいのですが……。

柴田：そうですね。産婦人科医は出血には慣れているのですが、バイタルやエアウェイの管理などは慣れていません。その意味では、こちらが出血対応をし、救急や麻酔科の先生にバイタルや気道管理をお願いするなどの連携ができれば、さらに助けられる妊婦さんが増えるように思います。

佐藤：柴田先生の病院では女性医師は増えていきますか？

働き方改革が進む救急医療 2週間の休暇を取る人も

柴田：今働いているところは、約6割が女性医師です。最近ではチームの中に女性が増えてきたこともあり、妊娠や出産、育児などライフステージ

のことも話しやすい雰囲気になってきました。また、患者さん

からすると、プライベートなパーツの診療になるので、同性の方が心を開きやすいというのはあると思います。その一方で、お産など夜間帯の診療も多い診療科ですから、女性だけで回せるわけでもありません。患者さんと

の信頼関係を築けるかどうかは、結局、性別は関係ないと思っています。

佐藤：今は多様性の時代で性別によってどうこうというのはいりません。残された方は大変ですが(笑)。また、シフト制などの働き方だけではなく、サプスペシャルティも多様です。私のように集中治療もいけば外科系もいます。救急医療は地域医療システムに依存するので、行政の仕事や災害医療に興味を持つ人もいますね。院内外のさ

絡もチャットで気軽に行える体制です。

柴田：救急医療はもともとシフトなので、働き方改革もすごく進んでいるイメージがあります。

佐藤：そうですね。働き方改革には早くから取り組んでいて、夜勤明けは休みのシフトを割り当てたり、育児を積極的に取得させたり、年末年始や夏休み、冬休みは長期間休むといった働き方が定着しています。交代で休みを取り、全員が2週間以上夏休みを取れます。常に誰かがいない状態なので、残された方は大変ですが(笑)。また、シフト制などの働き方だけではなく、サプスペシャルティも多様です。私のように集中治療もいけば外科系もいます。救急医療は地域医療システムに依存するので、行政の仕事や災害医療に興味を持つ人もいますね。院内外のさ

